

三島市出身、在住A T、サッカー米国男子代表も担当

石井氏チームワーク、挑戦の大切さ"伝授"

袋井南中で講演

三島市出身、在住のアスレチックトレーナー（A T）で、サッカー米国男子代表も担当する石井健太郎氏（39）がこのほど、袋井南中を訪問した。

同中が学期に1度実施している全校道徳「South Dream」で講演し、サッカー部の練習にも参加して、生徒と交流した。

石井氏は加藤暁秀高まで選手としてサッカーに取り組み、同校卒

業後にA Tを目指して米国の大学に進学。22年のサッカーW杯カタール大会には米国代表の一員として同行し、98年フランス大会の映像を見て抱いた「W杯出場」という夢をかな

えた。

講演では、自身の歩みを踏まえ、チームワークや挑戦の大切さなどを伝え、生徒に「自分が心の底から楽しめること、好きなことを見つけてください」と

呼びかけた。

「結果だけでなく、プロセスも大切にしていこうと思います」と鈴木啓太さん（3年）。岡本蒼空さん（同）も「今後の参考にさせていただきます」と目を輝かせた。

袋井南中のサッカー部員と記念撮影する石井氏（前列中央）

